



2021
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証

(中小規模法人部門)

法人名 トヨコンロジスティクス株式会社

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人 2021
(中小規模法人部門)」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層
取組を推進されることを期待いたします

2021年3月4日

日本健康会議



健康宣言実施結果報告書

事業所名

トヨコンロジスティクス株式会社

健康づくり
担当者名

管理部 部長 佐原亘

| 項目 | | 実施項目 にチェック | 取組内容・実施結果(数値報告) |
|------|-------------------------------|---------------|---------------------------------------|
| 必須項目 | 1 経営者自身が健康宣言事業に取り組む | ✓ | ・健康宣言の社内外への発信（宣言書の掲示、WEBサイト掲載） |
| | 2 組織体制の整備 | ✓ | |
| | 3 受動喫煙対策の実施 | ✓ | ・各営業所に喫煙所を設置し、受動喫煙の防止を強化 |
| | 4 (求めに応じて) 40才以上の従業員の健診データの提供 | ✓ | |
| | 5 健康課題に基づいた具体的目標の設定 | ✓ | |
| 選択項目 | ① 社員の家族の健康にも積極的に取り組みます | | |
| | ② 定期健康診断の受診 | ✓ | ・管理部より健診案内（受診率100%） |
| | ③ 受診勧奨の取り組み | ✓ | ・健診日を2日設けることで、未受診を防ぐ |
| | ④ ストレスチェックの実施 | ✓ | ・定期健康診断とセットで実施し、実施率100% |
| | ⑤ 管理職または一般社員に対する教育機会の設定 | ✓ | ・毎月、健康促進に関する情報（リーフレット）を発信＆掲示 |
| | ⑥ 適切な働き方の実現 | | |
| | ⑦ コミュニケーションの促進 | ✓ | ・社内SNS（参加率50%）での情報共有、「ありがとうキャンペーン」の実施 |
| | ⑧ 病気と治療と仕事の両立 | | |
| | ⑨ 保健指導の実施 | | |
| | ⑩ 食生活の改善 | ✓ | ・社内の自販機のメニュー改善（特保商品の充実化）、休憩室に血圧計設置 |
| | ⑪ 運動機会の促進 | ✓ | ・フィットネスジム法人会員契約をし、従業員へ無料開放 |
| | ⑫ 女性の健康保持・増進 | | |
| | ⑬ 社員の感染症予防 | ✓ | ・マスク・除菌シート配布、インフルエンザ予防接種費用負担、非接触体温計設置 |
| | ⑭ 過重労働への対応 | | |
| | ⑮ メンタル不調者への対応 | | |
| | ⑯ 健康経営の評価・改善 | | |

取り組み内容「PRシート」

事業所名

トヨコンロジスティクス株式会社

選択項目番号

⑦

取組背景
目標

具体的
取組内容

取組結果

今後の
施策

コミュニケーションの促進

社内SNS『BAND』導入による情報発信、『ありがとうキャンペーン』によるポジティブコミュニケーション

社内SNSツール『BAND』を導入し、会社↔社員、社員↔社員のコミュニケーション機会を作るとともに、社内情報の共有、意見の交換、コミュニティの創出を目指す。

社内発信情報を『BAND』掲示板の掲載し会社からの情報発信を実施、閲覧者からの返信等もあり。その他、社員個人の投稿もあり、個別にチームを作り活用するメンバーもあり。非対面でのコミュニケーションツールとしても有効活用が期待出来そう

社内SNSの導入は初めてで不慣れな方、苦手な方がいる中で、皆が積極的に利活用してもらうまでには至らず。時間をかけて、コミュニケーションツールとしての認知を高めていきたい。任意参加としたので、参加率は全社員の50%程度とまだ低い。

将来的なIT化推進という側面も含め、『BAND』利用率100%を目指し、様々な情報発信やイベント、キャンペーンなどを実施して、社内コミュニケーションを促進する一助としたい。

貴社の重点実施項目の中から**「アピールしたい取組」**があれば、下記の欄にご記入ください。写真・イラスト等を載せていただいても結構です！

選択項目番号

⑬

取組背景
目標

具体的
取組内容

取組結果

今後の
施策

社員の感染症予防

マスク・除菌シートの無償配布、AI顔認証検温システム設置
インフルエンザ予防接種の費用を全額会社で負担

昨年より、新型コロナウィルス感染拡大予防が企業にとっても最重要課題となり、従業員の健康を守るという観点で、出来得る施策を積極的に進めてきた。社員とその家族に感染者を出さないという事を目標に、全社で感染予防に取り組んだ。

政府の要請にそって感染拡大予防策を講じ、社員に対しては、マスク、除菌シートの無償配布を行い、予防徹底に努めた。顔認証検温装置を設置し毎日の検温を徹底、飛沫感染アクリル板の設置や、班会等を中止にするなどの対策を積極推進した。インフルエンザ予防接種を全額会社で負担し、受診推奨。

全社員での感染予防徹底と構内環境の整備、業務内外における活動自粛の徹底により、感染者0を継続。社員の意識も高くなっている、地域の感染拡大の波を捉えた最適な対応が出来ている。

コロナウィルス感染拡大は、まだまだ収束に至っていないので、今後も、会社と個人、それぞれで感染予防の徹底を継続していく。ワクチン接種の開始に備え、接種時の特別休暇措置等のルール整備を進めて行く予定。